

## 2025 年度(令和 7 年度) 日本学生支援機構大学院貸与奨学金 特に優れた業績による返還免除 「教員免除」出願者用 別紙

こちらは、「2025 年度(令和 7 年度) 日本学生支援機構大学院貸与奨学金『特に優れた業績による返還免除』募集要項」の「教員免除」に出願される方用の別紙です。

必ず「募集要項」を併せて確認してください。

### 1. 出願に関する注意点 **※要確認※**

以下の①～③すべてに同意する場合のみ、出願を受付けます。

- ① 特に優れた業績を挙げたと認められ、且つ以下の「3. 対象者」に記載の要件を満たす方を日本学生支援機構へ推薦します（「3. 対象者」に記載の要件を満たす方全員が推薦されるわけではありません）。
- ② 「教員免除」に出願した後、通常の返還免除への変更はできません。「教員免除」へ出願する場合は出願書類が異なります（本別紙 P. 2 参照）。「教員免除」と「通常の返還免除」のいずれに申請するか、出願する際は慎重に検討してください。
- ③ 2026 年 4 月 1 日以降、【4 月 1 日現在の在職証明書の写し】を提出してください。提出されない場合、本申請は無効となります。提出書類の詳細は本別紙の P. 2 を確認してください。

### 2. 「教員免除」制度概要

特に優れた業績を挙げたと認められる者で、且つ以下の「3. 対象者」に記載の要件を満たす者は、「教員枠」として返還免除（「教員免除」）に推薦されます。「教員枠」の要件を満たしたものは教員免除が認定され、大学院在籍時に貸与を受けた第一種奨学金は全額免除となります。

### 3. 対象者

通常の返還免除の出願資格に加え、以下の①または②いずれかの要件を満たす者が対象です。

※立命館大学大学院では、「教職研究科」および「言語教育情報研究科」のみ「教員免除」の対象となります。

- ① 教職大学院に在籍し、教員採用選考試験（※1）に合格、教職大学院修了の翌年度から正規教員（※2）として採用される予定の者
  - ② 教職大学院以外の大学院に在籍し、次の（ア）、（イ）の双方を満たす者のうち、教員採用選考試験に合格、大学院修了の翌年度から正規教員（※2）として採用される予定の者。
    - （ア）大学院において、教職課程を履修し専修免許状（採用選考等に当たり特別免許状の授与を受けている場合も含む）を取得していること。
    - （イ）大学院において、学校等での実習を必要とする科目（教職課程認定を受けているものに限る）を少なくとも 1 単位以上取得し、学校等での実習の実時間を概ね 30 時間以上確保していること。
- （※1）対象となる学校の種類は以下の通りです。国立・公立・私立は問わず、株式会社等立も含まれます。  
【小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、幼稚園、幼保連携認定こども園】  
（※2）臨時的任用の者や非常勤講師は対象外です。任期の定めのない常勤の教員が対象となります。

### 4. 出願方法・期間・注意点

通常の返還免除制度と同一です。「募集要項」P. 5 を参照してください。

※Web 申請フォームでは「「教員免除枠」で申請される方」を選択してください。

次ページあり

## 5. 出願書類

以下の出願書類を、PDF 形式に変換して提出してください。

※ PDF はパスワードをかけないでください。

### (1) 【教員免除用】2025 年度 業績優秀者返還免除申請書（様式 1 - B 表・裏両面）

※記入例（本別紙 P3～4）を参照のうえ作成し、PDF データにて添付してください。

※申請書は、手書き、パソコン入力いずれも可能です。

※奨学生番号の記載漏れがないようにしてください。なお奨学生番号は「奨学生証」に記載されています。大学へ電話で奨学生番号を聞かれてもお答えできませんので、予めご承知おきください。

※行間やフォントサイズを工夫し、全ての業績を必ず枠内に収まるように記載してください。

### (2) 業績を証明する書類

↳【教員免除用】2025 年度 業績優秀者返還免除申請書（様式 1 - B 表・裏 両面）の添付書類  
通常の返還免除制度と同一です。「募集要項」P. 2～P. 5 を参照してください。

### (3) 教員採用選考試験の合格通知書の写し

### (4) 採用猶予等通知の写し【該当者のみ】

各都道府県の教育委員会等が発行する採用の猶予を認める通知です。大学院修了まで採用延期制度の適用を受けている場合は提出が必要です。

### (5) 在職証明書の写し **※2026 年 4 月 1 日以降提出**

2026 年 4 月 1 日時点で正規教員として在職していることがわかる在職証明書の提出が必要です。

在職後、すぐに証明書発行の手続きをしてください。

※以下の提出期間内に在職証明書が提出されない場合、本申請は無効となります。

※教員として在職しない場合は、立命館大学 学生オフィス（BKC）まで必ず連絡してください。

【提出方法】以下の申請フォームより、PDF 形式で提出してください。

<https://rw.ritsumeai.ac.jp/survey/SVA20D0.html?key=SUR20260107105359154446968>

**【提出期間】2026 年 4 月 1 日（水） 9：00：00 ～ 2026 年 4 月 15 日（水） 23：59：59**

※保育士・幼稚園教諭として一括で採用試験が行われ、合格後異動により将来的に幼稚園や幼保連携型認定こども園に在職する可能性がある場合は、対象になります（前提として当該合格者が幼稚園教諭の免許状を保有している必要があり、保育士として採用された場合は、保育士・幼稚園教諭が一括で募集されたことがわかる書類（募集要項等）を提出してください）。

※対象となる学校種以外の機関が運営する法人に入職し、4 月 1 日時点では対象外の学校種の機関に一旦配属されたものの、将来的に対象の学校種の教員として在職することが予定されている場合は、募集案内、配属先は入職後に決定する旨や将来的に教員として採用される旨が記載された書類を併せて提出してください。

**※制度概要、出願・選考スケジュール、その他注意事項等は必ず「募集要項」を確認してください。**

＜個人情報の取り扱いについて＞

今回提出される申請書や家計状況を示す書類等の情報は、日本学生支援機構大学院貸与奨学金「特に優れた業績による返還免除」の選考に利用します。あなたの情報は、この利用目的の範囲内においてのみ利用されます。

(記入例)

(様式1 - B表)

## 【教員免除用】2025年度 業績優秀者返還免除申請書

西暦 2026 年 2 月 1 日	
独立行政法人日本学生支援機構理事長殿	
私は以下及び教員免除申請における注意点について承知したうえで、教員免除を申請します。	
・免除認定を受けた場合、認定後に日本学生支援機構が行う特に優れた業績による返還免除に協力することに同意します。 <b>【教員免除申請における注意点】</b> ・教職大学院を修了または教職大学院以外の大学院を一定の条件のもと修了見込であり、教職大学院修了の翌年度の4月1日から正規教員となる場合に教員免除の申請が可能です。 ・教員免除の認定を受けるには、在職証明書等の提出が必要です。 ・教員免除の候補者として推薦された後は、教員免除の要件を満たしていないことが判明した場合も含めて、教員免除以外の候補者として返還免除の推薦を受け直すことはできません。	
フリガナ キコウ タロウ 氏 名 機構 太郎	
大 学 院 名	JASSO大学
課 程 該 当 の 課 程 の □ を ■ に し て く だ さ い	<input checked="" type="checkbox"/> 修士（博士前期）課程 <input type="checkbox"/> 専門職学位課程（教職大学院含む）
研究科名・専攻名	教員養成課程
学 籍 番 号	9999999
奨 学 生 番 号	6 2 4 0 6 9 9 9 9 9 9
生 年 月 日	西暦2001 年 4 月 5 日

<input type="checkbox"/>	上記で選択した課程において、内定者として認定されている。	※該当する場合のみ、□を■にしてください。
大学院における研究課題 ↓専攻分野に関わらず必ず記入する必要があります。		
概要	~~~~。	

## 業績の種類

(1) 業績を証明する資料を添付し、申請書に書かれた資料番号を付記してください。

(2) 必要に応じて行を挿入してください。行の挿入により、表の形式及び記入項目に変更がなければ、頁数が3頁以上になっても構いません。

業績の種類				資料番号	機構に提出
1	学位論文その他研究論文	学位論文	必要項目：①申請者名 ②論文タイトル 例：①機構太郎 ②「（論文タイトル）」	1-1	✓
		研究論文	査読付き原著論文 受賞・表彰		
			必要項目：①申請者名（著者名）②論文タイトル③発表年④論文内容の概要⑤学術雑誌等名⑥学術雑誌発行年 例：①機構太郎 ②「（論文タイトル）」③2025年④資料1-2参照 ⑤「令和7年度〇〇学会誌」⑥2025年	1-2	
			例：①機構太郎、奨学花子 ②「（論文タイトル）」③2025年 ④資料1-3参照 ⑤「令和8年度〇〇学会誌」、⑥2026年3月（予定）	1-3	
		学会での発表	必要項目：①申請者名（発表者名）②題目③会議名④発表年⑤表彰、受賞等 例：①機構太郎 ②「（題目）」 ③令和6年度〇〇学会定例会 ④2024年 ⑤表彰、受賞なし	1-4	
			例：①機構太郎 ②「（題目）」 ③令和7年度〇〇学会定例会 ④2025年 ⑤優秀ポスター賞	1-5	
		日本学術振興会の特別研究員に採用、または、民間財団等が公募している競争的資金を獲得することにより奨学金を辞退	必要項目：①申請者名 ②年度 ③特別研究員採用又は競争的資金獲得情報 例：①機構太郎 ②2025年 ③特別研究員採用		

※論文及び学会での発表により機構以外の給付奨学金や外部資金を獲得した場合は、「研究論文」又は「学会での発表」の欄に記入し、「受賞・表彰」欄に○をつけください。

業績の種類			資料番号	機構に提出
2	大学院設置基準第16条に定める特定の課題についての研究の成果	※修士（博士前期）課程の学生のみ対象  必要項目：①申請者名 ②研究の成果 例：①機構太郎 ②修了制作「（タイトル）」		
3	大学院設置基準第16条の2に定める試験及び審査の結果	※修士（博士前期）課程の学生のみ対象  必要項目：①申請者名 ②試験及び審査の結果 例：①機構太郎 ②修士課程修了試験合格証明書		
4	（専攻分野に関連した）著書、データベースその他の著作物（1及び2に掲げるものを除く）	必要項目：①申請者名 ②著書、データベース等のタイトル ③著書、データベース等の概要 ④発行年 例：①機構太郎 ②「（タイトル）」 ③資料参照 ④2026年		
5	（専攻分野に関連した）発明	必要項目：①申請者名（発明（考案）者名） ②特許等の出願日あるいは認定日 ③特許等の出願時あるいは登録時に付与される番号 例：①機構太郎 ②登録日 2026年X月X日 ③特許番号 XXXXXXX 出願番号の例：2026-123456、特願令07-123456 登録番号の例：特許 第1234567号		
6	（専攻分野に関連した）授業科目の成績	必要項目：①申請者名 ②成績の詳細 ③年度 例：①機構太郎 ②資料6-1参照 ③2024年～2026年	6-1	✓
7	（専攻分野に関連した）研究又は教育に係る補助業務の実績	必要項目：①申請者名 ②研究プロジェクト名あるいは授業名 ③年度 例：①機構太郎 ②「情報工学基礎Ⅰ」でティーチング・アシスタントを担当。 ③2025年	7-1	✓
		例：①機構太郎 ②奨学大学〇〇研究室の「（プロジェクト名）」において リサーチ・アシスタントを担当。 ③2025年～2026年	7-2	
8	（専攻分野に関連した）音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績	必要項目：①申請者名 ②発表会名 ③年度 ④成績 例：①機構太郎 ②第N回〇〇コンテスト ③2025年 ④最優秀賞		
9	（専攻分野に関連した）スポーツの競技会における成績	必要項目：①申請者名 ②競技会名 ③年度 ④成績 例：①機構太郎 ②第N回全国〇〇競技大会 ③2026年 ④3位入賞		
10	（専攻分野に関連した）ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績（公益の増進に寄与した研究業績）	必要項目：①申請者名 ②イベント等の名称 ③年度 例：①機構太郎 ②「夏休みプログラミング教室」 ③2025年	10-1	✓
		例：①機構太郎 ②「〇〇市XX事業ボランティア」 事業で使用する利用者登録システムの構築に対し助言を行った。 ③2026年		

以上